

経営比較分析表（令和5年度決算）

宮城県 宮崎病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	透し未訓方	救急が被災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,058,710	100,580	非該当	非該当	7：1

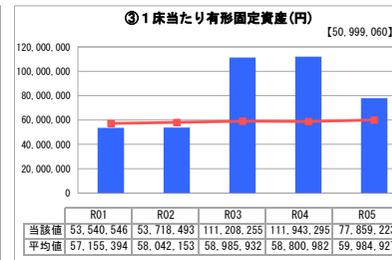
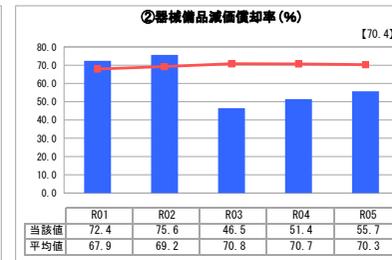
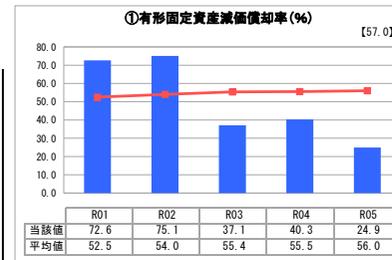
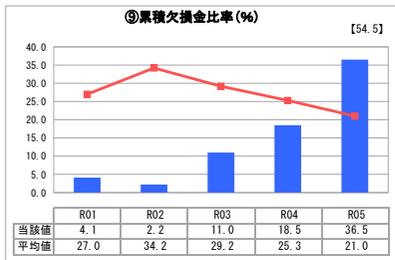
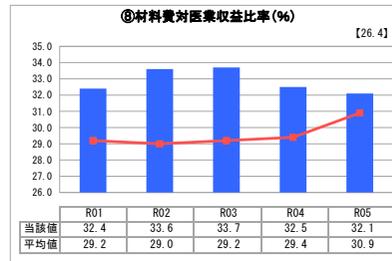
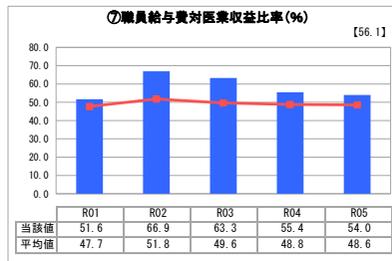
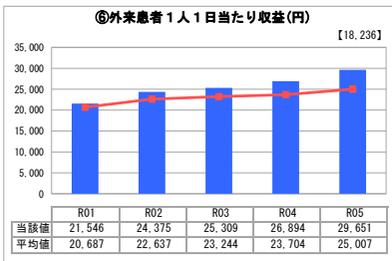
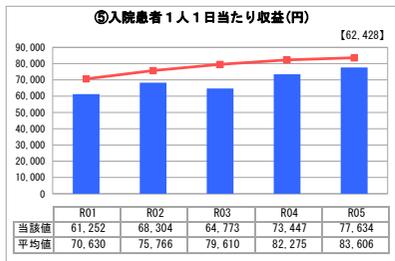
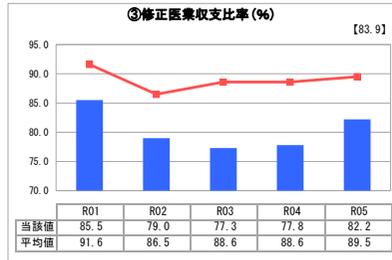
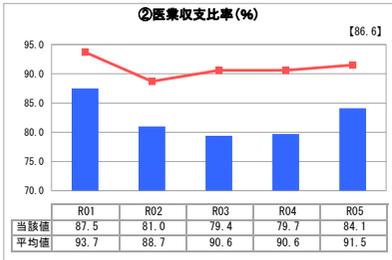
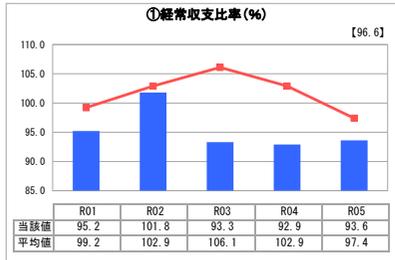
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
459	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
35	8	502
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
373	-	373

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・運営強化 (業務の明確化・ネットワークを推進)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

全県レベルの中核病院であり、以下の疾病・事業に係る基幹的な拠点病院及び地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院としての役割を果たしている。

- ・ 疾病（がん、脳卒中、心血管疾患、精神疾患）
- ・ 事業（救急医療、小児医療、産科医療、災害医療）
- ・ その他（第一種及び第二種感染症指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院）

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び②医業収支比率は平均値を下回っている。これは、物価高騰や資金の上昇により費用が大幅に増加したこと等によるものである。

③修正医業収支比率は平均値を下回っており、更なる収支改善を図る必要がある。

④病床利用率は、平均値を若干下回っているため、今後も受入患者の増加を図る必要がある。

⑤入院患者の1人1日当たり収益は平均値を上回っている。一方で、⑧職員給与費・材料費の対医業収益比率は平均値を上回っている。更なる収益の確保及び費用削減が必要である。

⑨累積欠損金比率は平均値を大きく上回っているため、解消されるように更なる収支改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

⑩有形固定資産減価償却率は、R03年度に新病院が完成したことから、平均値を大きく下回っている。

⑪器械備品減価償却率は、新病院移転に合わせ、老朽化した医療器械等を更新したことから、平均値を大きく下回っている。

⑫1床当たり有形固定資産は、新病院が完成したことから、平均値を上回っている。今後、投資に応じた収益の確保が必要である。

全体総括

R05決算は、経営の健全性・効率性を示す項目の多くが平均値に達していないため、更なる経営改善が必要な状況である。このため、収益面では、地域の医療機関等との連携及び救急患者受入体制の強化により受入患者増を図るとともに、費用面では、医薬品や診療材料の共同購入及び効率的な使用推進を図っていく。

また、各設備の機能を最大限に活用した収益増への取組を強力に推進するなど、投資に応じた収益確保を図っていく。

「宮崎県病院事業経営計画2021（R06年03月改定）」に基づく経営改善を着実に実行し、県民に高度で良質な医療を安定的に提供できるよう取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。